



春の風物詩

～利尻富士と大女子漁～

議会だより



定例会3月会議

【主な記事】

- 町政の今後の方針を問う（一般質問）
..... 2～6
- 平成28年度予算審議、条例改正
..... 8～14
- 補正予算、特別委員会、議会報告
.....15～16

平成28年 5月

NO 171



4議員が 一般質問



伊藤信勝議員

～我が町への観光客誘致について～

伊藤議員 現在我が国では、2020年に開催される東京オリンピックに向けて、インバウンド(外国人旅行者)への対応策を重要政策と位置付けており、北海道でも同じことが考えられている。我が町では昨年8月には北陸地方での観光誘致プレゼンテーションを行い、また11月には香港・台湾へ官民挙げてのプレゼンテーションを開催し、時期に見合った活動と想っています。我が町では香港・台湾での誘致活動の効果により、外国人観光客が来島することになった場合、十分な受入れ態勢が整っているのか。観光事業に携わる方達ばかりではなく、多くの町民にとっても戸惑うことなく迎え入れ、お客様に利尻・礼文は良い所であったと気持ち良く帰っていた、だくことが大切であると思いません。

町長 本町における外国人観光客の宿泊延べ数は平成26年度では1,178人、平成27年度は1,447人と年々増加し、このうち台湾・香港からの旅行者が約40%、50%を占めています。島内町内を見渡したときに観光業者の一部には台湾出身者や台湾語を話せるスタッフを配置して対応しているところもありますが、言語表記をはじめ十分な受入れ態勢が整っているとは言えません。各種のパンフレットや案内標識などを見てもインバウンド対策としての英語表記も十分と呼べない状況であり、更に台湾香港などに対応した北京語や広東語の表記、言語対応については遅れている状況にあると認識しています。

議員 是非パンフレットというよりもミニ冊子とかハンドブックを我が町1町で出来るか出来ないか、或いは利尻3町共同で作れるものかどうか。そういうものを考えていったほうがいいと思われま。

町長 3月23日に本町主催で観光業者を対象にしたがらセミナー・研修会を開きますが、その会社が全道・全国に渡って台湾香港等に企画等を行っている会社なので、住民に対して今言われたような冊子等、どのようなものが出来るのか相談しながら進めたい。(以上)



戸嶋 郁夫 議員

～空き地空き家対策について～



戸嶋議員 少子高齢化が進む我が町において、人口減少に歯止めをかけるべく努力をしている所だと思えます。先日も「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案を拝見し、企画としては出来た内容だと思われませんが、具体策が見えてこない。現実的に家族で移住して利尻で働きたいという人がいたとしても、仕事や子育て環境は整っているが

住む所がない。その問題を一步でも前に進める為には、空き家空き地情報をデータベース化し「空き家空き地バンク」なる制度を作ることで所有者との架け橋を作り、移住希望者が来やすいように手助けをするべきだと考えます。また、家を建てたいと考える人には土地を斡旋するなど、公営住宅を建設する以外にも出来ることがあると思うので所見を伺いたい。

町長 近年、全国的な空き家対策等についてはまちづくり等の観点や生活環境の保全、空き家等の活用などを含め、空き家対策に関する施策を総合的かつ積極的に推進することを目的として平成27年5月から空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行されました。空き家空き地バンク制度についてはご指摘のとおり移住定住の促進や住宅ストックの環境利用を図るための手法であり、空き家等に悩む多くの自治体が活用している有効な支援制度であります。

「利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中に具体的な施策として移住定住の促進と空き家対策の推進等を盛り込んでおり、28年度予算で空き家等対策として町の現状、課題等の実態把握、住宅に関する事項を共有する役場関係課が連携を図り、町の方向性を定め効果的な制度の構築を含めた委託業務を実施し、空き家空き地バンク創設に向けた取り組みをした

議員 駕泊市街地にも空き家や空き地が目立ってきている。解体した公住の跡地も雑草が目立ち、積雪に伴い玄関先の除雪がされていない家を見ると、この父さん母さんはどうしたのだろうと安否を心配することもあります。空き家空き地もそのままにしておけば倒壊の危険を伴う廃屋であり、雑草だらけの空き地になってしまいが、これも考え方を考えれば立派な資源になると思われれます。例えば固定資産税の納付書とともに利用解体及び売却の意思を確認する、民有地町有地も含め、ふるさと納税をして頂いた方に別荘を建ててみませんかというダイ



レクトメールを送信するなど積極的にPRしてみてもどうか。

町長 空き家問題は元々基本は所有者が責任を持って自己責任の問題であるということを押さえないながら行政を進めなければならぬというのを理解して頂きたい。空き家バンクなる制度を色々細かい法律等の中でも市町村整備計画を作りながら空き家バンクを創設しなさいと決められているので、まずは町の方向性或いは実態等を委託しながら調査をして、そのような計画を作りたいたいところで28年度の予算計上をしたところで、特にどうしても使えるような住宅であれば補修・改修しながら、使用に耐えられない住宅等の場

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

合は、町内の鬼脇地区もそうですが、除雪体制が中々捨てる場所を確保出来ないということで、除雪体制も大変なので、その辺を含めながら空き家空き地を確保するような話をしている現状もありますので、28年度予算が可決されれば、その中で町の方向性を示したい。(以上)

飯田睦穂 議員

～介護現場における 処遇問題等について～



飯田議員 先日、川崎市の介護付き有料老人ホームで入所者の転落事故があり、元職員が殺人の疑いで逮捕された事件が報道されました。介護職員による虐待件数は年々増えている傾向にあり、厚生労働省によると、2014年度全国では過去最多の300件に上り、北海道では24件が報告されています。厚生労働省ではその背景として、介護

技術の不足や人手不足からくるストレスなどが言われており、昨年、関係機関が実施した調査では、全国の介護施設のうち16%が過去3年間で「虐待があった」「あったと思う」と回答していることから、町内各施設の実態はどうなのか、また該当するケースがあった場合その対処はどうなのかを伺います。さらに広報誌等で度々募集をしている介護職員、看護職員いわゆる直接処遇職員の定数と実情はどうなのかについても伺います。

町長 高齢者虐待防止法は高齢者に対し虐待が深刻な状況にあり、高齢者の尊厳の保持にとつて高齢者に対する虐待を防止することが極めて重要であることが目的とした法律であります。本町における特別養護老人ホーム秀峰園、利尻島老人保健施設の介護施設、これらの業務に従事する者も適用され高齢者の権利・利益を守るものとされています。町内の各施設の実態はどうかということですが、秀峰園・デイサービスセンターを含め報告では無いとのことですが、老人保健施設では行政報告で報告したとおりであります。対処方法として、秀峰園・老人保健施設ともに入所者に対する虐待、虐待の疑いの通

報又は報告等があった場合は施設内での事実確認を実施し、その結果事実と判明したものと及び確認が出来なかったものについては、関係報告先に報告するものとなっております、すみやかにその家族に内容・経過を説明することになっていきます。今後は施設での全体会議で入所者の処遇に関して職員が配慮すべき点の周知、外部講師を招聘しての研修会の実施など、職員の質の向上、介護に対する認識の向上を図って参ります。

介護職員、看護職員の定数についての実情では、秀峰園は運営に関する基準では介護職員及び看護職員の総数は常勤換算で簡潔にいえば、入所者50人の施設は入所者3人に1人の職員で16・6人、切り上げて17人の職員が定数であり、看護職員の数は2人以上で1人以上常勤でなければなりません。実情として看護職員は正職員1人、短期時間勤務職員3人で常勤換算で3人となっております。介護職員は13人で合計16人で1名不足状態ですが、介助員2名で対応しているので実施指導等では指摘事項にはなっていません。老人保健施設は運営に関する基準では介護職員10人、看護職員4人の14人が定数で実情は看護

職員正職員1名、臨時等3名の計4名の看護職員。介護職員は8名で2名が不足している状態です。いずれにしても、秀峰園・老健施設ともに大変厳しい職員数であり、ハローワーク求人情報サイト、人材紹介会社などを通して募集していますが、早期に解消が図られるよう努力しています。今後は利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場にたったサービスの提供に努め、そのためにも職員の確保と意識の改善が大事であり、公務員としての自覚を持つて入所者に懇切丁寧な対応を図ることを徹底させます。

議員 離職率が高いという背景には労働に見合った待遇改善が必要だとも言われていますが、施設内の風通しを良くして職員がお互いに相談しやすい環境作りを努めなければならぬと言われています。介護現場でも職員の勤務内容は入所者の状況にもよるが精神的にも肉体的にも相当の負担となつていくことは私も重々承知して



います。このように残念なケースが発生した場合、意欲を持つて真面目に取り組んでいる職員の足を引っ張ることにもなりません。こうしたことにならないよう各々の施設全体で取り組むべき姿勢を答弁頂きたい。

町長 介護職員の募集をかけても集まらない、人口減少或いは生産年齢人口が少なくなっていることで、苦慮していますが、これから働いてもらうための短期間・短時間労働者ということを考えてやっていくと思っております。職員を確保するというのは一番大事なことであるので、管理者と相談しながら進めていきたい。職員の施設内の環境づくりは実態等を私も報告を受けた中では、これから副町長を先頭に徹底した指導を行うということで既にはじめており、宗谷総合振興局にも報告された改善内容ということでは外部の講師を招聘しながら研修会を開いた

り、職員の全体会議の中で同じ入所者に対する基準・処遇等を共有するなど今後徹底して入所者の事をいちばん先に考えながら資質の向上、あくまでも公務員ですから町の職員として町民のために働くというのが使命でございまして徹底してやっていきたい。(以上)

長岡俊裕 議員

～観光振興について～



長岡議員 我が町は明治初期から先人が漁業を生業として生計を築き、開町以来水産業が中心産業として町を担ってきました。観光の入込数は平成15年の27万人まで右肩上がりで推移してきましたが、平成16年以降は下降の一途を辿っています。そうした中、観光は「見る」から「見る・食べる・体験する」に変化をし、経済の減速や他地域の努力等により、利尻・礼文から足が遠のいているのが現状だと思われまふ。利尻島は「見る・食べる・体験する」すべてのものにおいて飛びぬけた地域であり、我が町の経済効果を考えたとき、観光のあり方を見つめ直し、観光に来て頂いた人達に、より多くの満足感を与え、リピーターとしてまた来て頂く努力をしていかなければならないと思われ、見る観光を考えたとき、世界でも稀で素晴らしい景観を見られないで帰られる観光客が半数以上、利尻島に訪れる観光客に何らかの形で利尻島の全景が見られるように利尻町と共同で利尻島観光プロモーションDVDを製作し、来島した人が天候が悪くて利尻山が見えないときには、カルチャーセンターや利尻空港や「海の駅おしどまり」などで上映し、利尻島への満足

感を少しでも享受出来るようにし、その映像が利尻島観光のリピーターに繋がるようにしていくべきだと考えます。

「食」については、最高級の「りしり昆布」や「利尻産エゾバフン」がある中、多くの人達を魅了していますが、残念ながら「うに」に関しては、近年価格が高値で推移し、漁業者には良いことであるが宿泊業者や食堂経営者には、これ以上価格に転嫁できず薄利の状況に追いやられていきます。現在、観光業者は入札価格の最高値で「うに」を仕入れていますが、プール価格で購入出来るように仲介をし、漁業と観光が相互依存しながら利尻島の観光を恒久的なものにしていくべきだと考えます。

町長 平成23年度に利尻富士町・利尻町・礼文町が共同でDVDを作成、内容は春・夏・秋・冬の景色や温泉や郷土資料館、交通手段や各体験メニューなどを収録、利尻島・礼文島編、利尻島編、礼文島編の構成で、カルチャーセンターで放映しているほか「海の駅おしどまり」でも放映しています。製作から4年が経過していることから、国内向けだけでなく外国人観光客向けの編集も含め、新たなDVDを製作していくことを検討していかなければならないと考えています。新たな製作となれば一層の効果を得るためには利尻島・礼文島が一緒のものが望ましいと考えられますが、利尻町や礼文町と協議をしなければならぬと思いますので、協議の場を作っていきたいと考えます。

ウニ価格の上昇は観光関連業者にすれば客単価を大幅に引き上げることが出来ない中で利尻での食の目玉であるウニを提供することは相当な負担となっております。プール価格で購入出来るように仲介をとることでありますが、こういう問題で町が関わりを持つことは難しいと思っております。生産者と観光業者双方にとって良い具体案は見出せないところでもあります。ウニの資源量が増えれば価格も落ち着くものと思われまふが、ウニの資源価格は基幹産業でもある漁業と観光及び町内経済における影響が多いため、漁協と連携しながら資源回復に努めて参りたい。漁業と観光の相互依存については観光業者が漁協との話し合いの場を作り協議を重ねることから始めていくことが重要であり、その調整については労をいとわないので理解を賜りたい。





えて頂きたい。
 一般業者が漁組からウニを買う時、例えば2万円のプルだとしたら1本でも高いのが3万円だとしたら、1万近く高く買ったという話も聞いています。ウニが高いが今まで出していたものを出さない訳にもいかず、数量も減らすわけにもいかない状況です。島に来て頂いたお客さんにウニを食べたいと言われるたら提供せざるを得ない。町長、それから観光業者、漁組の中で何とか観光営業をしている方にプル計算の価格で漁組か

で担当課にもそろそろ見直すべきだと話しています。昨年から山岳イベントということで山岳大使も任命し、冬山の映像的なもの、夏山のイベントも企画している中で、利尻の山というものをアピール出来るようなことを考えながら山に固定したDVDを隣町とも相談をして出来るだけ早い時期に検討をしたい。
 過去にも色々と観光業者と漁協等で話し合ったということも聞きながら、仲介あるいは話し合いの場を設けて、今年の観光

らノナを購入し、少しでも利益をあげ、観光客が一人でも食べ、美味しいウニだつたという満足感を与えるようにし、それが利尻島の魅力にも繋がり、満足にも繋がるので、惜しみなく行政が橋渡しするなど観光業者と漁業者、漁組の役員さん達と話し合いの場を設けて頂きたい。

時期、ウニ・ノナの漁の前に双方の考えを調整していきたい。
議員 やはり山の魅力の四季とこのを含めて、誰も見られないような映像がここで見られたというものを是非隣町とも相談のうえ、出来るものなら利尻の目玉として作ってみてはどうか。
 利尻に来たら食べるものはウニというくらい価格がある程度時価で決まっているので、観光業者も漁組を通じた水産業者もお互い努力をしながら、漁業と観光を結びつけて頂きたい。
町長 山の日ということで8月11日が国民の祝日になるので、山岳イベントを積極的に取り入れて1人でも多く自然を楽しんでもらい、前向きに進めたい。
 ウニの件はホテル関係でも大変であると聞いており、ウニをつけないツアーを組んでくれなにかなどという話もあるよう、なお負の連鎖にならないよう、どこまでの話し合いになるのかは別として、調整したい。

(以上)

平成27年度補正予算

一般会計に利尻小学校解体、校舎改築など7億3,163万円を追加
 特別会計補正額は1,272万5千円を可決 (3月10日)

【各会計補正額】

会計名	補正額	補正後の総額	
一般会計(第5号)	7億3,163万4千円	48億9,187万円	
特別会計	簡易水道事業	△ 217万7千円	7,478万5千円
	下水道事業	465万9千円	2億979万円
	港湾整備事業	△ 31万5千円	3,217万4千円
	温泉事業	367万4千円	7,870万9千円
	国民健康保険事業	731万3千円	5億1,706万4千円
	後期高齢者医療	△ 117万7千円	4,767万円
	介護保険事業	1,226万1千円	3億2,616万7千円
	介護サービス(秀峰園・老健・デイサービス)	△ 1,027万9千円	4億4,830万4千円
歯科施設(鬼脇歯科)	30万3千円	5,642万8千円	
国民健康保険施設(鷺泊診療所)	△ 153万7千円	7,860万円	
合計	7億4,435万9千円	67億6,156万1千円	

利尻小学校仮設校舎



行政報告

1. 利尻空港利用状況
2. 日本ハムファイターズ利尻富士町応援大使
3. 利尻富士町「まち・ひと・しごと総合戦略」
4. 旭川地方法務局巡回登記所
5. 利尻島老人保健施設の業務運営
6. 鬼脇地区小中併置校
7. フェリー乗船券（鬼脇）
8. 職員派遣と地域おこし協力隊



利尻空港利用状況

12月から2月分までの利用状況を報告。

日本ハムファイターズ

北海道日本ハムファイターズ北海道179市町村応援大使として、道内ではじめて離島から本町が18市町村の中選ばれ、2月21日に沖縄名護市にキャンプ地訪問、3月3日に札幌市で18市町村応援大使決起集会並びに日本ハムファイターズ激励会に出席。後援会設立総会を開催し、応援ツアーをはじめ各イベント参加を協議します。

まち・ひと・しごと総合戦略

利尻富士町人口ビジョン案、利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略案については、1月28日から2月10日までパブリックコメントを実施、2月18日に第4回策定委員会を開催し、了承を得て、同日29日に北海道へ報告。町ホームページにて公表。

巡回登記所

法務局職員の減員、巡回登記所での相談件数の減少等により年12ヶ月開設していたものを4ヶ月減の8ヶ月の開設にしたい旨の申し出があり、住民サービスの低下につながる旨、現行を要望するも将来的に巡回登記所を廃止とすることのないよう強く要望し同意しました。

老人保健施設運営

昨年10月2日に相談受付所にて事故虐待疑い事例を施設長が把握、同月15日に宗谷総合振興局に事例を報告。法律の定めによる事実確認、町及び宗谷総合振興局に事故発生報告書の提出、町による調査、町から振興局に調査報告書の提出を経て、12月9日に宗谷総合振興局稚内保健所の監査を受けました。指定介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を遵守していないことが認められ、介護保険法の規定に基づき

北海道知事から利尻富士町長に業務運営の報告書が手渡されました。入所者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立つてサービスの提供に努めなければなりません。入所者の尊厳を傷つける不適切な言動等、サービス計画に基づかない不適切な介護、入所者の同意を得ず介護が行われていたため、介護管理者の責務についての改善を報告されました。この件については職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例により、施設長並びに主任介護員1名を2月9日付けで戒告処分。町職員としての自覚を持って入所者に懇切丁寧な対応を図ることを徹底させ、町民の皆様にはご迷惑をおかけし、お詫び申しあげます。

鬼脇地区併置校

国の補正予算で27年度に前倒しで交付金が内定、関連予算を平成27年度一般会計補正予算に計上。

フェリー乗船券

鬼脇藤井石油店でのフェリー乗船券発券業務を3月31日で契約終了の旨、ハートランドフェリー株式会社から通知されました。鬼脇地区の住民の皆様にはご不便となるが、理解を願いたい。

職員派遣と協力隊

4月から2年間道職員を1名本町に派遣、主に地域防災を担当。地域おこし協力隊が5月から勤務、41歳女性の大阪在住、オーストラリアへの留学経験あり、英語も話せ主に観光面での活動。他にも男性2名から応募があり、今後、面接した後に採用を決定したい。



平成28年度総予算額

(一般会計・各特別会計)

59億8,300万円を可決

【歳出】一般会計目的別予算の内訳

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
議会費	4506万円	△ 631万円	△ 12.3%
総務費	4億4801万円	3628万円	8.8%
民生費	5億5424万円	8397万円	17.9%
衛生費	3億4167万円	△ 1121万円	△ 3.2%
労働費	10万円	△ 2万円	△ 16.5%
農林水産業費	1億777万円	△ 1962万円	△ 15.4%
商工費	2億888万円	2147万円	11.5%
土木費	9億4914万円	8192万円	9.4%
消防費	2億3886万円	△ 696万円	△ 2.8%
教育費	2億2449万円	△ 1億7466万円	△ 43.8%
地方創生費	2678万円	2678万円	皆増
公債費ほか	8億3374万円	△ 5512万円	△ 6.2%
災害復旧費	1億2926万円	1億2926万円	
歳出合計	41億800万円	1億500万円	2.6%

【歳入】一般会計項目(款)別予算の内訳

一般会計	予算額	前年増減	前年度比
町税	2億7009万円	△ 413万円	△ 1.5%
地方贈与税	2270万円	△ 180万円	△ 7.3%
地方消費税交付金	6000万円	2000万円	50.0%
自動車取得税交付金	200万円	0	0.0%
地方交付税	21億5600万円	△ 4000万円	△ 1.8%
分担金及び負担金	3969万円	△ 754万円	△ 16.0%
使用料及び手数料	1億164万円	47万円	0.5%
国庫支出金	1億2398万円	△ 140万円	△ 1.1%
道支出金	5億4201万円	5154万円	10.5%
財産収入	2177万円	57万円	2.7%
寄付金	700万円	0	0.0%
繰入金	1億1500万円	△ 4766万円	△ 29.3%
繰越金	100万円	0	0.0%
諸収入	1億412万円	643万円	6.6%
町債	5億3920万円	1億2930万円	31.5%
その他	180万円	△ 80万円	30.7%
歳入合計	41億800万円	1億500万円	2.6%

平成28年定例会3月会議は、3月9日～11日の3日間開催され、町政執行方針、教育行政執行方針の表明のほか、平成27年度各会計補正予算、平成28年度各会計予算、条例改正などを慎重に審議し、いずれも原案通り可決。一般質問では4人の議員が観光・移住・介護の各分野の今後の方針などについて問いました。

地方創生事業に2,678万円

利尻富士町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、実質のスタート年となる平成28年度の事業には、地域の特性を活かした新規事業や出産・子育て支援、移住・定住対策など多くの事業が盛り込まれ、人口減少の克服と地域の活力が創出されます。

主な事業：山岳イベント、結婚イベント助成、女性定住奨励金事業、りぷら等結婚祝金事業、子ども子育て地域人材育成事業、通学支援給付金事業、子ども医療対策事業、出産支援事業、サークル合宿誘致事業、漁業担い手育成・確保推進事業、空き家対策事業ほか 全15事業

【一般会計 主な建設事業等】

- 保育所改修工事（保育室増築194㎡、旧幼稚園舎解体、内部改修工事）……………8,122万円
- 健康管理システム購入……………1,274万円
- 乙女橋改修工事……………3,204万円
- 町道改良工事（鶯泊9号線 L=110m）……………3,000万円
- ロータリー除雪車購入……………4,666万円
- 公営住宅個別改善工事（清川・富士野団地）……………4,613万円
- 防災基盤システムデータ構築委託……………945万円
- 富士岬避難路整備工事（L=180m、駐車・退避帯470㎡）……………768万円

**【保育料】3人目以降の保育料を免除
【乳幼児医療費】こども医療費に改め、
中学生までの医療費を無料化 など**



条例

□教育長の職務専念義務の特例に関する条例の制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく職務等、職務に専念する義務の特例について定める

【原案可決】

□特別職報酬等審議会条例等の一部改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律による関係条例の一部改正

【原案可決】

□利尻富士町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止について

【原案可決】

□利尻富士町行政不服審査会条例の制定

行政不服審査法に基づく、利尻富士町行政不服審査会の設置、組織・運営について定める

【原案可決】

□利尻富士町情報公開条例等の一部改正

行政不服審査法の施行による地方税法の改正に伴う一部改正

【原案可決】

□職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づく給料表の改定及び勤勉手当率の改正

【原案可決】

□利尻富士町長等の給与等に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づく期末手当等の改正等

【原案可決】

□利尻富士町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正
過疎地域自立促進特別措置法の延長に伴う、旅館業の新設・増築の際の3年間免除の延長

【原案可決】

□利尻富士町敬老祝い金条例の一部改正
所得制限の撤廃

【原案可決】

□利尻富士町保育所条例の一部改正

子ども子育て支援法の制定及び子育て支援の拡充のため、3人目以降を0円とする

質疑

長岡議員 鴛泊・鬼脇保育所で対象者は何名で町の負担はどれぐらいか。

福祉課長 該当者は1名で保育料は14万2千円程度

【原案可決】

□利尻富士町乳幼児等医療費の助成に関する条例の全部改正
小学生までの自己負担分の一部助成を中学生まで引き上げ、全額助成に拡大する全部改正

【原案可決】



議会議長あての文書は直接議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、日程等の調整をする必要がありますので、恐れ入りますが直接議会事務局へお送り願います。

●送付先：利尻富士町役場3F 利尻富士町議会事務局（議会議長）宛
直通電話：(0163)82-2512 メール：gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp

平成28年度予算審議(要約)

総務費

地域おこし協力隊採用の内容は

2名分を予算計上

Q米谷議員 今年度2名採用と聞いているが、一人は英語のできる女性のほか3名の募集があると聞いているが、状況をお知らせ願いたい。

A総務課長 女性1名がすでに内定、ほか2名については面接等を行い、決定しますが、予算では2名分を計上。

衛生費

葬苑管理委託料等の見直しは

15年改正していない、見直しを検討

Q飯田議員 葬苑管理業務委託料が数年間同額、業務の内容からして増額の検討をしてもいい時期では？

A 霊柩車運転業務委託料が増額となっている、要因をお知らせ願いたい。

禁煙チャレンジ事業の予算が今年度なくなっているが、肺がんの死亡率が高いという地域特性だそうだが、予算が組み替えになったのか。

A福祉課長 葬苑管理業務委託料は15年間改正されていないので、特殊性や負担を踏まえ、検討をさせていただきたい。

平成13年から委託料の改正がされていないが、道内の公共工事労働単価の一般運転士の単価で見直しをしました。昨年の禁煙チャレンジ事業は6名の参加でありましたが成功者はゼロ、本人の意思が前提であるので、禁煙外来の受診推奨など再検討する。

Q飯田議員 葬苑業務については闇雲にあげるといいではなく、受託者の都合でできない場合は急ぎよ福祉課で対応しなければならぬもの。代わりの人がいないことを考慮すべき。

A福祉課長 15年という年月を考慮とすれば課内で検討し、理事者に相談します。

Q飯田議員 禁煙チャレンジは予防という考えからもPRの方法、制度などを含めて啓発をしていくべき。

A福祉課長 禁煙をしたいという相談・方法等を含め受け入れ態勢はとっております。一人でも多くの喫煙者を減らすPR活動は行っています。

林業費

倒木被害の対応の内容は

一部は治山工事の際に処理

Q飯田議員 昨年の秋の暴風で国有林野内も倒木被害が発生、森林管理署では調査をして対応決めるとのことだが、春の山菜取りに間に合わないことも心配される。地区の森林愛護組合との連絡や調整もあると思うが対応の内容を知りたい。

A建設課長 倒木の箇所は3か所あり、調査はすでに終わっていますが、ヤマナイ沢は治山工事の予定もあるので雪解け後、処理は実施、山菜時期に間に合うよう早い時期に対応したいと申し出はしています。アフトロマナイは昨年うちに対応を行っています。南浜地区は森林整備の元々の道路であり、山菜取りの目的での理由では倒木処理は対応はできなく、現時点で除去する予算は確保されていないとのことです。

Q飯田議員 国有林内で例えば地元の愛護組合で勝手に木を切ってもいいという話にはならないと思うが、そうした場合の何か問題は出てくるのか。

A建設課長 森林管理署の森林官と山の状況を把握して

商工費

プレミアム観光商品券の成果は

全体の38%が宿泊業で利用

いる愛護組合の方々と今後調整を図っていきます。

Q戸嶋議員 プレミアム観光商品券の昨年の細かな成果は。

A産業振興課長 全体事業費のうち、宿泊業が38%、飲食業で6%、小売業で35%、サービス業17%、公共施設で2%の使用となっています。

Q戸嶋議員 9月のANAの搭乗率向上の事業費が今年度無いようだが、それと関連していることはあるのか。

A産業振興課長 プレミアム観光商品券とANA対策とは全くの別なもの。宿泊利用で38%という数字が出ていますので完全に観光部分で、レンタカーでも使われているので観光業でのプラスになっています。

商工費

沼浦展望台の道路整備について

事業費の財源等も含め検討

Q飯田議員 沼浦キャンプ場入り口部分の整備工事にからみ、展望台までの道路の拡幅を検討してもいいのでは。「白い恋人の丘」として大々的に石屋製菓との了解からPRしており、大きめの車両も入れるような道路の拡幅や改良も検討してみる必要があるのでは。

A産業振興課長 昨年、エイジェントのツアーも入りかたりの利用がありました。現道の幅員が4mで普通車が交差するためには6m必要、徒歩で上がる人もいるので歩道1mプラスすると概算で1億5千万以上かかります。さらに国有林の待遇も受けて、民地も借り上げてい

る状況で、事業費の財源手当てが大きな課題であり、今後考えていきます。

観光費

サケ釣り大会への補助金は

期間中の入場料等で還元を検討

Q 佐々木議員 サケ釣り大会の補助金について予算計上されていないが、どこかの項目に入っているのか。

A 産業振興課長 実行委員会形式の中での参加者からの参加料で賄っており、独立してやっています。大会に参加する際の車の乗り入れなども以前の質問でもあったので、フェリー会社への働きかけはやっていきたい。

Q 佐々木議員 外国人観光客に対しても、例えば釣り道具や仕掛け、エサを用意するなど自身での用意は難しい料金をもらい貸出できるような体制や、一般の人にも期間は2か月くらいあるので団体に声掛けして予算付けできないか。

A 産業振興課長 形態としてどのようにやっていけるか今後理事者と協議します。

A 町長 今担当課に指示しているのは、一般の釣り客に対して、サケ自体がお金のかかっている魚なので、検討中ですが、サケ釣りに来ている人には入場料みたいな負担をしてもらい、ワッペンを渡すことで自由に釣ってもらいような形態をとり、そのお金をサケ釣り大会に還元できればいいのではと検討させています。

土木費

練泊地区の道道整備の進捗は

北海道の予算の配分による

Q 長岡議員 練泊地区の道道の用地買収、物件保障につ

いての進捗は。

A 建設課長 昨年終わった買収用地の取得が終わっている鴛泊側の家を対象に補償をかけていき、工事については雄忠志内と練泊の境界の危険な道路の本工事をしたいと聞いています。

Q 長岡議員 危険な道路のカーブの半分くらい残っているが、今年度である程度道路の見通しがつくということか。

A 建設課長 現段階ではその場所を回避して本工事を進めてスムーズに走れるような道路にしたいとのこと。予算の配分によっては道路だけ半分に終わる可能性もあります。

消防費

富士岬避難路整備の内容は

避難路180mと駐車帯を整備

Q 米谷議員 富士岬避難路整備工事は道路及び駐車場を造って終わりなのか、避難するための棟を建てるのか。

A 総務課長 富士岬自治会館の上から180m位まで上部まで道路をつけ、駐車帯をつけ、その上に何かを建てるということは現在考えていません。

教育費

ふるさと教育体験事業は継続事業か

毎年実施する

Q 米谷議員 ふるさと教育体験事業手数料としてこともちを飛行機に乗せるということだが、毎年実施することか。

A 町長 平成28年度から小学校6年生を対象に毎年実施します。

創生費

サークル合宿誘致事業の委託内容は

誘致のための旅費やパンフレット作成

Q 伊藤議員 サークル合宿誘致事業の委託料はどういうことを委託するのか。

A 産業振興課長 参加者の航空券、移動手段の手配を旅行会社に委託し、その他大学のPRやパンフレットの作成を盛り込んでいます。

Q 伊藤議員 事例もあるので、先進自治体に聞いたり職員が率先してやることは考えているのか。

A 産業振興課長 昨年もこの事業を実施、北海道運輸局や旅行者、フェリー会社などと集まり、事例や知恵を出し合って、本泊小学校廃校舎の利活用も含めて関係者の意見を聞きながら進めています。

Q 伊藤議員 委託業者が選定してくれたような大学などの合宿を求めるといふことか。

A 産業振興課長 昨年誘致した団体は民間人や大学生もいるサークルで、離島でのサークル誘致を一緒にやりたいたいということで運輸局等と手がけました。今年はもう一歩進んだ形で人脈を使いながらアプローチし、本町の情報発信をしようと考えています。

創生費

結婚イベント助成金の根拠と内容は

参加者の負担も考慮

Q 戸嶋議員 結婚イベント助成事業の70万円の補助金の根拠とその内容は。

A 福祉課長 商工会青年部が町外の女性を招いて婚活イベントを開催、当初106万円の事業費で助成要望があ

りましたが、はじめてのイベントということもあり、70万円の予算計上としました。

Q 戸嶋議員 初めてのことでリスクの高い事業だと思うが、やってみることが大事、成功してカップルが誕生したならば来年度も何らかの努力と続けていくことが大事では。

A 町長 初めての事業であるから多いというわけではなく、女性に島に来てもらって全額旅費や宿泊費を助成するというのはどういふものなのか、ただ観光気分に来てもらっても困りますので、本人負担をもううということでの70万円としました。宗谷管内でも振興局を中心に婚活イベントをやっていますので、継続して実施してもらえよう団体をお願いしたい。

創生費

地域安心応援特典発行事業の内容は

要介護認定者と在宅介護世帯に配布

Q 米谷議員 地域安心応援特典発行事業の内容は。

A 福祉課長 在宅介護世帯の経済的負担を軽減するため、商工会発行の「とくとく商品券」を町が購入し、要介護1・2あるいは要介護3以上の在宅介護世帯に配布します。

創生費

漁業担い手育成・

確保推進事業の内容は

新規就業者への研修期間の支援

Q 佐々木議員 漁業担い手育成・確保推進事業の内容は。

A 産業振興課長 新規就業者を一人前になるまでの養成研修期間後、生計開始後1年間担い手育成ということで、2級小型船舶操縦士の資格取得費用の1/2支援、年間

25万円の支援、住宅料を1万円差し引いた残りを1/2支援など所得制限を設定しながら運用します。

Q 佐々木議員 これに対しては組合の方がこれもよもさらに助けてあげるべき問題。組合の水揚げをあげるために漁師道から漁師を増やしてきているが、補助もない、何もしていないのが現状。組合に語りかけるなりしてもらいたい。

A 町長 2月に漁協の役職員と懇談の場を持った時も地方創生の中で漁業対策あるいは豊かな浜づくりということで、この事業の話を上上げて、その中で住宅政策等も支援するが本来であれば漁協がやってくればそれに対して町が支援する形が一番いいのではと話をしながら、漁協と協議しながらも組合自体も大変な部分があるので、逆に力強く浜の方から声だしていただければありがたいと思います。



総括質疑

町長・教育長の執行方針に対する主な質疑

■佐々木議員 以前一般質問した、利尻高校への学校給食取り入れの経過は。

【町長】 昨年の4月に高校生と保護者両方にアンケート調査を実施、生徒からは反対が53%、保護者の反対が40%で、生徒からの主な意見として「手作り弁当が一番うれしい」「給食は全員で食べなければならない」「昼休みを使った委員会活動が難しくなる」「保護者からは「義務教育でもないのに全員が給食をとるのは」「食べないかもしれないのに給食料を払うのは」、など中には「ぜひ導入してほしい」という意見もありますが、この結果を踏まえて生徒の半分以上が反対、保護者も4割程度が反対という数字で導入の検討にはしるには難しい数字だと思います。当然隣の町長にも結果は渡っており、正式な場ではないですがこの数字では難しいかなということ、新たに1・2年後に生徒が入れ替わる部分もありますのでまたアンケート等をとって道内の導入経緯を踏まえながらも、今のところこの数字の結果では難しいと思います。

■飯田議員（教育長） ①国のコミュニティスクールいわゆる学校運営教育なるもので地域とともにある学校づくりというものを保護者や地域住民の期待に応える魅力ある学校づくりを推進するとあるが、町としてはどのようなものをイメージして作っていくかとしているのか。

②本町の学力調査が全道平均を下回っているとのことだが、具体的にどのような取組があつてどのような形で出てきているのか。教育委員会としてどのように進めていくかとするのか。

③検定中の教科書の閲覧問題で教科書をつくる会社が先生に見てもらって報酬を支払っている報道がされたが、



利尻富士町ではそういった事例があつたのかなかつたのか。

【教育長】 ①コミュニティスクールは学校運営協議会を作つたところが、コミュニティスクールという呼び方をしています。保護者やその代表、地域の代表を選んで校長が作る学校運営の基本方針に対して意見を述べることでできる協議会。小さな町村では子供たちの顔が見られるということでメリットは少なく早急に取り入れて各学校に設置して進める考えは今のところありません。

②毎年違う生徒が学力テストを受け、問題も違うわけであり、当然その年の子ども達の学力によって平均点に差がつくことは仕方のないことですが、学力調査を検証しながら、一番問題になつていふと思われのが、家庭学習の時間が足りないということが学習状況調査の中で結果として現れています。予習復習をしない、テレビを見る時間が長い、ゲームの時間が長いことが指摘され、学校でも指導を強化、各学校の中では教職員間で家庭学習の与え方について共通理解を深めるよう全般的な取組を進めていることで、国語A、算数A、数学AといったA問題は着実に効果が表れているので、家庭学習のあり方進め方について各学校で共有し進めていく体制をとつていきます。

③教科書の閲覧問題では、宗谷管内10市町村で第8地区教科用図書も採択教育委員会協議会で調査委員を教科ごとに校長先生をはじめ3〜4人の委員で教科書の中身を検討、本町の校長もその一人としていますが、第8地区管内においてはそういったことはまずないと思つています。

■飯田議員 ②学力調査がこういった形で報道公表されれば、親御さんも気になる。先生方も大変な業務だと思つたが、児童の学力増進のため努力して頂きたい。

■戸嶋議員 函館と稚内がFDAチャーター便で結ばれるようだが利尻空港にチャーター便が着陸する可能性はあるのか。また北海道の指針の中で空港の民営化の話も耳にするが、その可能性は。

【町長】 FDAの利尻空港のチャーター便の予定はない。ただし、稚内空港が悪天候で着陸できない場合代替え空港として、昨年トライアルしているので来るかもしれません。民営化については、利尻空港も道の空港なので順次説明に伺う報道もありましたが、一考に私は理解していません。

■長岡議員（町長） ①高校の通学手当て1人1万円予算をつけて頂いてるが、ある地域では1か月2万5千円、1年間で30万円になるが、一番お金のかかる世代にもう少し目を向けて頂きたい。

②プレミアム商品券は1200万円を使って1000万円入ってきて町の持ち出しは200万円であり、その200万円が価値がどうなのか。観光の使い方をするのであれば、呼び寄せるようなお金の使い道、町長がPR活動としていったプレゼンテーションというような、新たに考えていただけるお客さんの政策に使うべき。

③ふるさと納税額が少し落ち込んでいるが、我が町の限られた返礼品の中でもう少し工夫をすべき。寄付の半分を返礼品で返しても半分残るが、それを子育てやほかにプラスの財源として使えるよう、一つの課ではなくいろんな人を集め財源の使い道を考えては。

（教育長） ④地域未来塾について、塾に行けない子、離島地域の子、特殊な条件で塾に通えない子供達を支援する目的で文部科学省がICTでタブレットを提供して教育の塾代わりとする方針がある。この地域は塾もない地域で競争ものどかな地域なので塾的なプラスアルファの政策も考えられないか。

⑤スマートフォンは人間関係のトラブルや勉強時間の減少などマイナス面が多いが、中学生のスマートフォンの

保有率は。

【町長】 ①高校生への通学支援は2年が経過、道内の統計を見ても通学支援をしているのは多くなつていますが、その趣旨は子ども子育てというよりも高校の存続という部分が多いように感じています。利尻高校に關しては子育ての面と高校の存続という二つの面を考えなければならなく、担当課からは増額で要求がありました。今年度は妊娠出産子育ての方に重点を置いて子供の医療費もとりあえず15歳までにして数年、その先は増額もしなければならぬと考えています。また、自家用車での送迎もいるので調査しながら子育て支援の年齢的なものを徐々に上げながらと考えています。

②プレミアム商品券も情報を発信するようになってからは、7月で完売ということでは全国発信する情報は大事な政策と考え、一人でも多く島に来てくれることを期待して28年度の予算に計上しました。

③ふるさと納税を一番してくれるのはウニだと思つています。返礼品も漁協とどういふものかいいか協議の場を作つてもらえないか申し入れし、生ウニも減産になつていふことがネックです。ウニ以外でも漁協ばかりでなく他の業者もいるので検討させていき、納税の方法は4月1日からクレジット決済を導入しました。

【教育長】 ④本町のICT教育環境については、生徒一人ひとりにはパソコンが当たるよう整備、電子黒板といった大型テレビ、実物投影機という機器などある程度進めてきました。鬼脇地区の小中併置校の備品整備もありますので、タブレットの購入も併せてICTの環境整備をしていきたい。

⑤スマートフォンの保有については正式に調査はしていませんが、学校の聞き取り調査で駕中44人中15人、鬼中13人中5人が保有、共働いで子供が一人、緊急時の連絡手段などで持たせる場合もあるかと思つていますが、親の責任で約束事をしっかりと決めて理解させるのが大事。昨年

のPTA連合会の教育講演会でも研修機会を設け、注意喚起を促しました。

■長岡議員(町長) ①通学支援も地域に若いものを残すためにはやむを得ない政策の一つ、来年再来年に向けて親御さんの負担を減らしていけるように努力して頂きたい。

②プレミアム商品券もやったらきりのない話であるが、恒久的にやれる政策ではないので、礼文を含めてお金のかかる地域に来て頂けるために目を向けてもらえるような観光施策をして頂きたい。

③ふるさと納税の関連の本が何冊も出ている。話題性になるものを企画したところでふるさと納税が増えていると書いてあった。例えば山は魅力的な山ですし、山岳大使の佐々木大輔さんのようなプロの山の方が利尻富士町に関わり合って、一緒に登れる特典だとか物をもらうだけじゃなく、一緒に体験できるものも魅力の一つ。ほかの魅力を考えられる企画や若い色んなアイデアを考えたいって頂きたい。

【町長】 ①通学支援については金額を上げないという意味ではないのでこれから検討して進めて参ります。②プレミアム商品券も今年の売れ行きを検証しながら、恒久的なものではないと考えていますので、観光協会と相談しながらやってみる部分もありますので、そのようにやっていきたいと思えます。

③ふるさと納税については、人が来てくれることによって宿泊なりしてもらえらるわけですから、一方的に送るのではなく山に特化した部分でもDVDを作るなど、それを販売しながら返礼品にするという考え方もありますので、職員にも伝えていきたい。

■長岡議員(教育長) ④地域未来塾は国土交通省が未来塾に対して無料で提供してくれる話。自宅で学習したものを送って添削されて戻り、パソコン相手に塾の先生が指導する時代。町の教育で足りないものは、そういう機械や通信を利用しながらいいものを取り入れて頂きたい。

⑤スマートフォンの関係は利用の仕方を地域がしっかり見れるところは見守ってやらなければいけないこと、スマートフォンが原因で友達と仲が悪くなった、トラブルにつながるなど地域として、教育委員会として学校にある程度指導も必要では。

【教育長】 ④パソコンを使った学習方法等についてはこれからもそういう方法について補助を探して積極的に進めていかなければなりません。

⑤スマートフォンは学校には持ち込ませていませんが、使い方についても工夫しなければなりません。今のところ深刻ないじめ等の問題の報告はありませんが、スマートフォンを持たせるにあたっての親の約束ということもしっかり学校として伝えていきたい。



議会日誌

1月18日	平成28年新年交礼会	3月14日	利尻礼文消防事務組合議会
22日	議員協議会(地方創生関連)		利尻島国保病院組合議会
29日	広報・広聴常任委員会(議会だより)	15日	利尻郡学校給食組合議会
2月1日	宗谷管内議長会定期総会(稚内市)		利尻郡清掃施設組合議会
3日	全国離島議長会理事会総会(東京都)	3月19日	鴛泊小学校卒業証書授与式
12日	武部氏・三好氏国政道政報告会	20日	利尻小学校卒業証書授与式
21日	鴛泊婦人防火クラブ防火の集い	21日	武部代議士、吉田道議、三好道議を 囲む新春の集い
26日	鬼脇婦人防火クラブ防火の集い	22日	鴛泊地区自治会長協議会新年交礼会
3月1日	利尻高等学校卒業証書授与式 議会運営委員会	28日	定例会3月第2回会議 全員協議会(一部組合予算説明)
9日	定例会3月会議(～11日)		鬼脇保育所退所式
11日	鴛泊中学校卒業証書授与式 鬼脇中学校卒業証書授与式	29日	鴛泊保育所退所式

定例会3月第2回会議 **補正予算** (平成27年度) 定例会3月第2回会議を3月28日に開催

地方創生の追加予算として 3,022万円を追加

平成27年度の補正予算として、地方創生事業（創生加速化推進事業）の国庫補助金が採択され、3,022万円を追加（うち国庫補助金2,992万円）したほか、鷺泊港港湾施設（災害）が激甚災害に指定されたことによる災害復旧負担金9,000万円を減額とする予算を可決。

交 付 金	事 業 名	補 正 額
地方創生加速化交付金	漁師を目指す若者を確保し育成するモデル事業	2,700万円
	外国人観光客促進モデル事業	322万円

議会議員の定数等調査特別委員会設置を決議(3月11日)



議員の定数等について調査をする特別委員会が設置されました。

- 名 称 / 利尻富士町議会議員の定数等調査特別委員会
- 提 出 者 / 米谷 篤
- 賛 成 者 / 佐々木 勝・安楽 昌弘
- 委員の構成 / 全議員で構成
- 調査の期間 / 調査が終了するまで
- 委 員 長 / 長岡 俊裕
副 委 員 長 / 飯田 睦穂

■ 議員の派遣 (※議会として議員を派遣し、調査研修等の活動を活発に行うため、議会の議決で決定するもの)

- 宗谷町村議会議長会主催の宗谷管内町村議会議員研修会（礼文町）
5月17日から5月18日まで
- 北海道町村議会議長会主催の全道町村議会議員研修会（札幌市）
7月4日から7月6日まで

～宗谷管内議員研修報告～

礼文町で開催された研修では、稚内地方気象台から2名の講師による「防災気象情報の活用と大雨災害に備えて」「地震・津波と防災」と題した講演を拝聴。頻発する地震のメカニズムや大雨の際の情報収集の基礎知識など、当町でも活用できる防災情報は議会での提言としても役立つ内容でした。

- ・視察研修～北のカナリアパーク



5/17に開催された宗谷管内町村議会議員研修会

事務局通信



書記 小島のぞみ

今年度新規採用の小島のぞみさんが議会事務局に配属になりました。

- ・出身地 鬼脇
- ・出身校 利尻高等学校

少しでも早く仕事を覚えて、皆さんのお役にたたいです。
よろしくお願いします！

議会に行こう！

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／安楽 昌弘
副委員長／飯田 睦穂
委員／長岡 俊裕 米谷 篤
伊藤 信勝 佐々木 勝
戸嶋 郁夫

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

議会報告・意見交換会 を開催します！

日時 平成28年5月30日(月) 午後6時30分から
場所 役場2階大会議室

平成26年から試行的に始めた「議会報告・意見交換会」。今回は本誌をもとに3月議会での発言の要旨や皆さんからの意見や提案に耳を傾け、分かりやすく行動する議会を目指します。



昨年度開催された議会報告会

編集後記

名峰「利尻富士」の雪解けも一気に進み、浜も活気づき始め、観光シーズンも始まるようとしています。

最盛期を前に豊漁年であることと、多くの旅行客が利尻島に足を踏み入れてくれることを願うところです。

さて、平成28年定例会3月会議では、各会計の予算審議が行われ、前年度比2.3%の増額予算を可決いたしました。

これにより、地域の経済と子育て世代の支援とともに、人口減少対策など新たな事業も着手され、今後は事業の進捗状況や評価の指標の検証なども議会として行っていかなければなりません。

また、あらゆる災害への備えや知識、心構えも非常に重要です。東日本大震災から5年、定例会3月会議中には、議会としても犠牲者への黙とうを捧げた翌月、4月14日には熊本地震が発生しました。日本は世界有数の地震国と言われていますが、熊本地震の脅威と群発して起こる地震のメカニズムには日本中が驚愕しました。

被災された方々は、先の見えない避難生活と不安でいっぱいかと思われます。復興への希望と一日も早く安堵できる生活ができますことを願うとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

広報・広聴常任委員会一同